

月	単元名・内容	配当時間	評価項目		主な判定基準 (おおむね満足できる Bの基準)	主な評価方法
			観点	特に重視する観点に◎ (評価する観点に○)		
4 5 5	1章 式の計算 1節 式の計算 2節 式の活用	15	知識・技能	◎	<ul style="list-style-type: none"> 単項式、多項式の意味、整式の同類項のまとめ方、単項式の乗法・除法の仕方を理解し、簡単な計算ができる。 数量の関係を文字式で表すことの意義を理解し、文字式を使って表現したり、文字式が意味することを読み取ったりすることができる。 計算法則や文字式のきまりに従って式を変形したり、手順を説明したりすることができる。 	授業中の取り組み、提出物(ノート・プリント等)、小テスト、単元テスト、考査
			思考・判断・表現	○	<ul style="list-style-type: none"> 整式の加・減や単項式の乗・除の計算の仕方を見出し、表現することができる。 数量の関係を帰納や推理によって発見的にとらえ、それを文字式を用いて一般的に説明できる。 具体的な場面で目的に応じて式を変形し、数量の関係を考察することができる。 	授業中の取り組み、提出物(ノート・プリント等)、単元テスト、考査
			主体的に学習に取り組む態度	◎	<ul style="list-style-type: none"> 整式の加法・減法および単項式の乗法・除法の計算方法を考えようとして、それらの計算をしようとする。 事象の中に数量の関係を見だしそれを文字式を使った式を用いて説明しようとしている。 具体的な場面で目的に応じて式を変形して考察する事に興味をもち、活用しようとしている。 	授業中の取り組み姿勢、提出物(ノート・プリント等)
5 5 6	2章 連立方程式 1節 連立方程式とその解き方 2節 連立方程式の活用	14	知識・技能	◎	<ul style="list-style-type: none"> 二元一次方程式とその解、連立方程式とその解の意味を理解している。 代入法や加減法を用いて連立方程式を解く方法を理解し、解くことができる。 数量の関係を表す連立方程式を解いて、解の吟味をし、問題の答えを求めることができる。 	授業中の取り組み、提出物(ノート・プリント等)、小テスト、単元テスト、考査
			思考・判断・表現	○	<ul style="list-style-type: none"> 加減法と代入法の2つの解き方の共通点や相違点を見出すことができる。 やや複雑な連立方程式を変形して、溶きやすい形の連立方程式に帰着させることができる。 連立方程式を具体的な場面で使うことができる。 	授業中の取り組み、提出物(ノート・プリント等)、単元テスト、考査
			主体的に学習に取り組む態度	◎	<ul style="list-style-type: none"> 連立方程式とその解を見つけようとして、連立方程式の必要性和意味を考えようとしている。 代入法や加減法による連立方程式の解き方を考えようとしている。 連立方程式を使った問題解決の過程を振り返り、得られた結果を意味づけたり使ったりしようとしている。 	授業中の取り組み姿勢、提出物(ノート・プリント等)
6 5 9	3章 1次関数 1節 1次関数 2節 1次関数と方程式 3節 1次関数の活用	18	知識・技能	◎	<ul style="list-style-type: none"> 1次関数の関係を表、式、グラフを使って表すことができる。 直線のグラフから、傾きと切片を読み取り、直線の式を求めることができる。 座標平面上の2直線の交点の座標を連立方程式を解いて求めたり、連立方程式の解を2直線の交点の座標から求めたりすることができる。 	授業中の取り組み、提出物(ノート・プリント等)、小テスト、単元テスト、考査
			思考・判断・表現	○	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りにある二つの数量を取り出し、変化や対応に着目して調べ考察し1次関数の関係を見出すことができる。 1次関数の変化の割合を、1次関数の式のxの値の係数やグラフの傾きと関連付けることができる。 連立方程式の解が2つの1次関数のグラフの交点の座標に一致することを説明することができる。 具体的な事象の中から取り出した2つの数量の関係を、1次関数とみなし、変化や対応のようすを調べたり予測したりすることができる。 	授業中の取り組み、提出物(ノート・プリント等)、単元テスト、考査
			主体的に学習に取り組む態度	◎	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な事象の中から1次関数としてとらえられる2つの数量を見出したり、その関係を式で表したりしようとしている。 1次関数のグラフを使って連立方程式の解の意味を考えようとしている。 具体的な事象の中から、1次関数としてとらえられる関係を見いだそうとしている。 	授業中の取り組み姿勢、提出物(ノート・プリント等)

9 5 10.	4章 平行と合同 1節 平行線と角 2節 合同と証明	知識・技能	◎	<ul style="list-style-type: none"> 多角形の内角、外角の和の意味、求め方を理解し、求める事ができる。 対頂角や平行線の性質を理解し用いて、角の大きさを求めることができる。 2つの三角形が合同であることや、辺や角の関係などを記号を用いて表したり、その意味を読み取ることができる。 合同な三角形の対応する辺の長さや角の大きさを求める事ができる。命題の仮定や結論などを記号を用いて表し、意味を読み取る事ができる。 	授業中の取り組み、提出物(ノート・プリント等)、小テスト、単元テスト、考査
		思考・判断・表現	◎	<ul style="list-style-type: none"> 多角形の内角、外角の和などを予想し、既習の図形の性質を使ってそれが正しいことを説明することができる。 対頂角や平行線の性質を見だし、根拠を明らかにして説明することができる。 平行線の性質などを使って、三角形の内角の和が180°であることを確かめ説明する事ができる。 三角形の合同条件を見だし、それを用いて二つの三角形が合同であるかを確認することができる。 図形の性質などを証明するために証明の構想や方針を立てることができる。 	授業中の取り組み、提出物(ノート・プリント等)、単元テスト、考査
		主体的に学習に取り組む態度	◎	<ul style="list-style-type: none"> 平行線や核の性質を使って、角の大きさを求めたり、直線の位置関係を表したりしようとしている。 平行線の性質や三角形の外角の性質を使って、大きさが等しい角を見つけようとしている。 合同な図形の性質や三角形の合同条件を使って図形の性質などを確かめたりしようとしている。 図形の性質などを証明することの必要性和意味を考えようとしている。 	授業中の取り組み姿勢、提出物(ノート・プリント等)
11. 5 1	5章 三角形と四角形 1節 三角形 2節 四角形 3節 三角形と四角形の活用	知識・技能	◎	<ul style="list-style-type: none"> 二等辺三角形の性質や平行四辺形の性質、平行四辺形になるための条件などを記号を用いて表したり、意味を読み取る事ができる。 三角形や平行四辺形の性質の証明から、辺や角の関係などを読み取る事ができる。 証明を読んで見出した図形の性質を、記号を用いて表す事ができる。 	授業中の取り組み、提出物(ノート・プリント等)、小テスト、単元テスト、考査
		思考・判断・表現	◎	<ul style="list-style-type: none"> 二等辺三角形の性質を使って、図形の性質が成り立つことを証明する事ができる。 平行四辺形の性質や平行四辺形になるための条件を調べ、証明する事ができる。 三角形の等積変形をもとにして四角形を等積変形する方法を考察し表現することができる。 	授業中の取り組み、提出物(ノート・プリント等)、単元テスト、考査
		主体的に学習に取り組む態度	◎	<ul style="list-style-type: none"> 三角形や平行四辺形の性質などに関心をもち、調べ、証明しようとしている。 三角形や平行四辺形の基本的な性質などを具体的な場面で使おうとしている。 	授業中の取り組み姿勢、提出物(ノート・プリント等)
2	6章 確率 1節 確率	知識・技能	◎	<ul style="list-style-type: none"> 多数回の試行によって得られる確率と関連づけて、場合の数をもとにして得られる確率の必要性を理解している。 樹形図や二次元の表などを使って起こり得るすべての場合を求め、同様に確からしい事を基にして、簡単な場合について確率を求める事ができる。 問題解決のために、起こり得るすべての場合を求めたり、確率を求めたりする事ができる。 	授業中の取り組み、提出物(ノート・プリント等)、小テスト、単元テスト、考査
		思考・判断・表現	○	<ul style="list-style-type: none"> 同様に確からしいことに着目し、場合の数をもとにして得られる確率の求め方を考察し表現することができる。 多数回の試行から求めた確率と、場合の数をもとにして得られる確率を比較し、その関係について考察し表現することができる。 	授業中の取り組み、提出物(ノート・プリント等)、単元テスト、考査
		主体的に学習に取り組む態度	◎	<ul style="list-style-type: none"> 場合の数をもとにして得られる確率の必要性和意味を考えようとしている。 いろいろな事象の確率を求めようとしている。 	授業中の取り組み姿勢、提出物(ノート・プリント等)
2 5 3	7章 データの分析 1節 データの散らばり 2節 データの活用	知識・技能	◎	<ul style="list-style-type: none"> 四分位数、四分位範囲の必要性和意味を理解し、求める事ができる。 四分位範囲や箱ひげ図を使って、問題を解決する方法を理解し、活用してデータを整理することができる。 	授業中の取り組み、提出物(ノート・プリント等)、小テスト、単元テスト、考査
		思考・判断・表現	○	<ul style="list-style-type: none"> 四分位数、四分位範囲、箱ひげ図を使って複数のデータを比較し、分布の傾向を読み取ることができる。 目的に応じたデータを収集する方法や整理する方法について考察し表現することができる。 	授業中の取り組み、提出物(ノート・プリント等)、単元テスト、考査
		主体的に学習に取り組む態度	◎	<ul style="list-style-type: none"> 四分位範囲や箱ひげ図の必要性和意味を考えようとしている。 箱ひげ図を使って2つのデータを比較し、分布の傾向を読み取ろうとしている。 	授業中の取り組み姿勢、提出物(ノート・プリント等)
3	2年生で学んだ内容のまとめ	主体的に学習に取り組む態度			
		思考・判断・表現			
		技能			
		知識・理解			